

令和6年度

あまた スマートカレッジ 学習案内

無料講座

地域づくり分野

A 地域の取組学び講座

B 熟議ファシリテーター講座

現代的取組分野

C 障害者の生涯学習講座

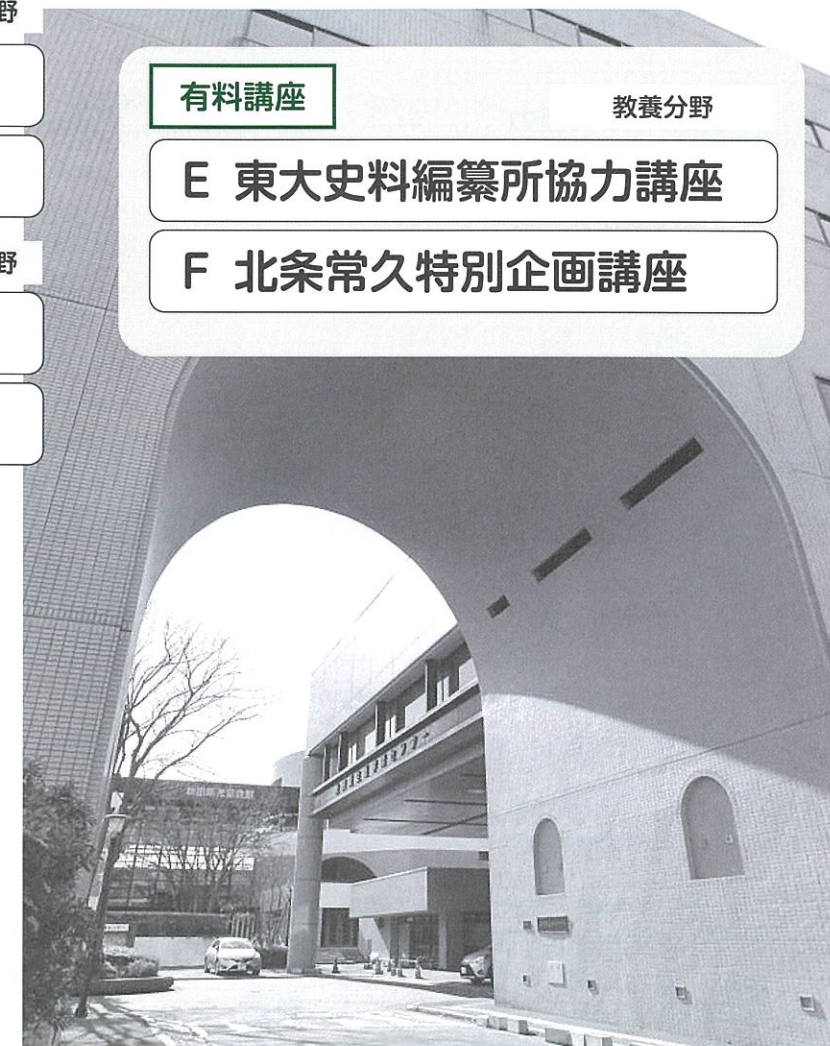
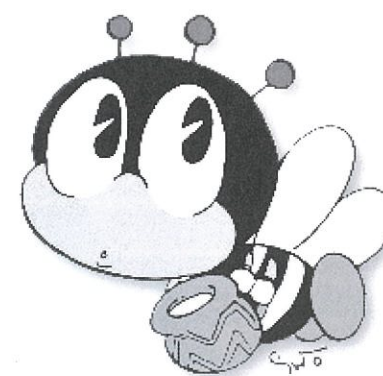
D 防災講座

有料講座

教養分野

E 東大史料編纂所協力講座

F 北条常久特別企画講座



無料講座



開講記念講演 会場：秋田県生涯学習センター

5月18日(土)

受付 午後1時00分～1時30分
 開講宣言 午後1時30分～1時40分
 記念講演 午後1時40分～2時40分

記念講演 テーマ **～今、北条常久 戦争体験を語る～**

講師：秋田県生涯学習センターシニアコーディネーター・文学博士

北条常久(秋田県文化功労者)

昭和20年横浜の小学校に入学しましたが、学童の疎開により栃木県へ転校しました。召集された父親は帰ってきませんでした。シニアコーディネーターが戦時中および戦後の体験を語るとともに、戦争と文学について考えるF講座のイントロダクションとなる講演です。

講座の受講は、資料準備のため事前の申込みをお願いしますが、この記念講演に限っては当日参加も歓迎します。

すべての講座で電話による申込みは受け付けておりません。

| 2024 5月 (May.) | | | | | | |
|----------------|-----------|----------|----|----|------------|--------------|
| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
| | | | 1 | 2 | 3 憲法記念日 | 4 みどりの日 |
| 5 こどもの日 | 6 振替休日 | 7 休館日 | 8 | 9 | 10 | 11 |
| 12 | 13 休館日 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 開講記念講演 |
| 19 | 20 休館日 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 |
| 26 | 27 休館日 | 28 | 29 | 30 | 31 | |

| 2024 9月 (Sep.) | | | | | | |
|----------------|------------|-----------|----|----|----|----------------------|
| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
| 1 | 2 休館日 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 東大協力E2 |
| 8 | 9 休館日 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 障害生涯C1 防災D3 |
| 15 | 16 敬老の日 | 17 休館日 | 18 | 19 | 20 | 21 |
| 22 秋分の日 | 23 振替休日 | 24 休館日 | 25 | 26 | 27 | 28 北条企画F3 |
| 29 | 30 休館日 | | | | | |

| 2024 6月 (Jun.) | | | | | | |
|----------------|-----------|----|----|----|----|------------------------|
| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
| | | | | | | 1 地域取組A1 防災D1 |
| 2 | 3 休館日 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 |
| 9 | 10 休館日 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 地域取組A2 熟議ファB1 |
| 16 | 17 休館日 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 |
| 23 | 24 休館日 | 25 | 26 | 27 | 28 | 29 防災D2 |
| 30 | | | | | | 北条企画F1 |

| 2024 10月 (Oct.) | | | | | | |
|-----------------|--------------|-----------|----|----|----|----------------------|
| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
| | | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 東大協力E3 |
| 6 | 7 休館日 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 障害生涯C2 防災D4 |
| 13 | 14 スポーツの日 | 15 休館日 | 16 | 17 | 18 | 19 東大協力E4 |
| 20 | 21 休館日 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 北条企画F4 |
| 27 | 28 休館日 | 29 | 30 | 31 | | |

| 2024 7月 (Jul.) | | | | | | |
|----------------|-----------|-----------|----|----|----|------------------------|
| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
| | 1 休館日 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 地域取組A3 熟議ファB2 |
| 7 | 8 休館日 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 |
| 14 | 15 海の日 | 16 休館日 | 17 | 18 | 19 | 20 地域取組A4 熟議ファB3 |
| 21 | 22 休館日 | 23 | 24 | 25 | 26 | 27 北条企画F2 |
| 28 | 29 休館日 | 30 | 31 | | | |

| 2024 11月 (Nov.) | | | | | | |
|-----------------|-----------|----------|----|----|----|--------------|
| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
| | | | | | 1 | 2 東大協力E5 |
| 3 文化の日 | 4 振替休日 | 5 休館日 | 6 | 7 | 8 | 9 |
| 10 | 11 休館日 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 障害生涯C3 |
| 17 | 18 休館日 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 勤労感謝の日 |
| 24 | 25 休館日 | 26 | 27 | 28 | 29 | 30 地域取組A6 |

| 2024 8月 (Aug.) | | | | | | |
|----------------|------------|-----------|----|----|----|--------------|
| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
| | | | | 1 | 2 | 3 熟議ファB4 |
| 4 | 5 休館日 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 |
| 11 山の日 | 12 振替休日 | 13 休館日 | 14 | 15 | 16 | 17 |
| 18 | 19 休館日 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 地域取組A5 |
| 25 | 26 休館日 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 東大協力E1 |

| 2024 12月 (Dec.) | | | | | | |
|-----------------|-----------|-----------|----|----|----|--------------|
| 日 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
| 1 | 2 休館日 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 障害生涯C4 |
| 8 | 9 休館日 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 北条企画F5 |
| 15 | 16 休館日 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 |
| 22 | 23 休館日 | 24 | 25 | 26 | 27 | 28 |
| 29 | 30 休館日 | 31 休館日 | | | | |

地域づくり分野

A 地域の取組学び講座 ～挑戦と新たな価値の創出～

地域課題の解決のため、新たな取組に挑戦したり、既存のモノを改修し、新たな価値を創出（リノベーション）したりすることを通じて、持続可能な地域づくりに関わっている方に学ぶ講座です。

無料
定員30名

| No. | 日時 | テーマ | 講師 | 学習内容 |
|-----|-----------------------------|---|------------------------------------|---|
| A1 | 6/1 (土) 10:00～11:30 | 食品廃棄物リサイクルによるカーボンニュートラル実現に向けて | 株式会社 ナチュラルエナジージャパン 代表取締役 天野善友氏 | 食品循環資源のリサイクルを通じ、地域社会へ貢献する試み。食品廃棄物のメタン発酵処理により発生するバイオガスを利用した、CO ₂ 排出削減とカーボンニュートラルの実現への取組を知る。 |
| A2 | 6/15 (土) 10:00～11:30 | 地域と共に歩む松庵寺 | 松庵寺 副住職 渡邊英心氏 | ミュージシャンとしても活躍しているお話や、「Terra cafe/TERRA BAR」という、空き家をリノベイトした地域住民の語り場づくりの話から、地域のつながりづくりについて学ぶ。 |
| A3 | 7/6 (土) 10:00～11:30 | この街で子どもを育てたいⅡ | NPO法人 Yokotter 理事長 細谷拓真氏 | 人口減少社会において、「未来を諦めない」姿勢をもち続けていきたい。どのような視点で未来と向き合い努力できるのかを知ることで、秋田で生きる活力をもってほしい。 |
| A4 | 7/20 (土) 10:00～11:30 | 世界の目を秋田に、秋田の芽を世界に～複合拠点「アトレデルタ」から目指すこと～ | 株式会社 アウトクロープ 代表取締役 栗原エミル氏 | 映像制作からスタートしたアウトクロープがコワーキングやカフェを併設した宿泊施設を始めるに至った背景と、秋田で挑戦する意義について学ぶ。 |
| A5 | 8/24 (土) 10:00～11:30 | 遊び×地域創生 ～地方の魅力を引き出し、未来への活力へ～ | 株式会社 遊名人 代表取締役 東風平 時人氏 | 仙北市で古民家の再生、空き店舗の利活用、未活用の観光資源の掘り起こしを「遊び」を通じて実現し、遊ぶことで地方創生の活力にすることを旨とするベンチャー企業の取組に学ぶ。 |
| A6 | 11/30 (土) 10:00～11:30 | 地域産業資源を使ったクラフトビール・ハードサイダー造り ～都会に行っても、戻ってこられる秋田に～ | HOPDOG BREWING 合同会社 代表社員 長谷川 信氏 | 85年続いた銭湯「星の湯」をリノベーションして誕生した醸造所。「秋田の原料を使った製品を多くの人に届けることで、人生と食卓をもっと豊かにしたい」をテーマに日々取り組む美味しいお酒造りについて学ぶ。 |

B 熟議ファシリテーター講座 ～「熟議」をつくらう！～

持続可能な地域づくりや課題解決に向け、熟慮×議論により、連携と協働を形成・促進する話し合いの手法「熟議」。全4回の受講を通して、当センターの手法をもとにする自分なりの「熟議」パッケージを完成させていきます。企画進行役のファシリテーション技術と「熟議」の本質について学ぶ実践的研修講座です。※プレゼンテーションソフトがインストールされているノートパソコンやタブレットパソコンの準備が必要です。

無料
定員10名

| No. | 日時 | テーマ | 講師 | 学習内容 |
|-----|----------------------------|-------------------------------------|-------------|---|
| B1 | 6/15 (土) 13:30～15:30 | 「熟議」をつくらう！① ・ファシリテーターの役割と「熟議」体験 | 生涯学習センター 職員 | ファシリテーターが「熟議」の際に果たす役割について学び、その後「熟議」を実際に体験してみる。ファシリテーターの場の雰囲気づくり方や「熟議」の組立て方を体験を通して学ぶ。 |
| B2 | 7/6 (土) 13:30～15:30 | 「熟議」をつくらう！② ・オリジナル「熟議」の構想立案 | | 「熟議」の中心となる考え方や手法、その進行の仕方や工夫等について学ぶ。また、自分なりの視点(想定される状況等)で「熟議」を構想し、その熟議を展開する方法を考える。 |
| B3 | 7/20 (土) 13:30～15:30 | 「熟議」をつくらう！③ ・オリジナル「熟議」の作成 | | 「熟議」のまとめ方を体験を通して学ぶとともに、自分なりの「熟議」の構想をスライドに表してみる。オリジナル「熟議」の完成に向けて、参加者目線に立った段階の設定等を考え、スライド作成に取り組む。 |
| B4 | 8/3 (土) 13:30～15:30 | 「熟議」をつくらう！④ ・オリジナル「熟議」のプレゼンテーション | | これまでの講座で作成した「熟議」スライドを用いて、参加者同士が発表し合う。これまでの講座を通して学んだ手法等を用いて、互いに学びを深めるとともに、スライドを完成させる。 |

熟議ファシリテーター講座 ってどんな講座？ (全4回)

じゃくぎカフェ
@ (会議名等)

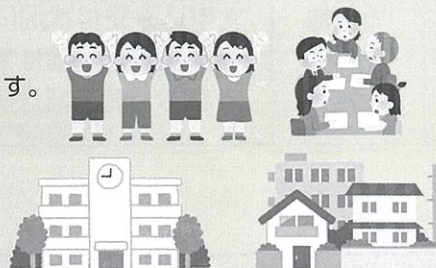
本日のMenu

熟議
いろいろな立場の人が、テーマについて自分の思いを話し、共通の目標に向かって自分に何ができるかを考えます
～Beyond the theory～ L.C.A

一般的に熟議というと…言葉の意味としては、「十分に議論を尽くすこと」ですが、本講座の「熟議」は、当センターで5年間にわたる実践を通して形づくられたものです。地域のいろいろな役割・立場の人たちに集ってもらい、自由闊達な議論を通して、方向性を共有したり、課題解決に向けた方策を見つけたりする際に力を発揮します。特に、コミュニティ・スクール推進のために有効です。

現在、「熟議」は以下のような場面で活用されています。

- コミュニティ・スクールにおける話し合い
- 地域学校協働活動の担い手の交流・対話
- まちづくりに係る自治会等での話し合い



現代的取組分野

C 障害者の生涯学習講座 ～学びを楽しもう～

年齢や障害の有無に関わらず、どなたでも体験や講義を通して学び、生活の質を高めるための講座です。

無料
定員20名

| No. | 日時 | テーマ | 講師 | 学習内容 |
|-----|-----------------------------|--------------------------------------|---|---|
| C1 | 9/14 (土) 10:00～11:30 | みんなでヨガ | 介護福祉士が伝える健康ヨガ ヨガインストラクター 佐藤 歩氏 | 自分の身体の特徴に合わせた動き方を知り、体を動かすことによる睡眠不足の解消や、ヨガを通しての仲間づくり等を通して、心身共にリフレッシュする方法を体験的に学ぶ。 |
| C2 | 10/12 (土) 10:00～11:30 | みんなの美術鑑賞 みんなで美術鑑賞 ～対話で広げて深める美術鑑賞～ | 東北芸術工科大学 非常勤講師 黒木 健氏 | 参加の皆さんとの対話で進める美術鑑賞。一人一人の自由な見方や感じ方を大切に、美術の知識があってもなくても新しい体験から学ぶことができる。 |
| C3 | 11/16 (土) 10:00～11:30 | モルックの魅力 | NPO法人 こまちハート・オブ・ゴールド クラブマネージャー 菅 善徳氏 | ユニバーサルスポーツで人気の「モルック」。基本的なルールや技術、スポーツを通して様々な人と関わる楽しさや、身体を動かす心地よさを学ぶ。 |
| C4 | 12/7 (土) 10:00～11:30 | みんなが笑顔になる コミュニケーション術 | 秋田大学 名誉教授 武田 篤氏 | 幸せに生活する上で欠かすことのできないコミュニケーション。心理学からのアプローチで、自分の思いの伝え方、相手の気持ちの捉え方を知り、他者と接する楽しさを学ぶ。 |

D 防災講座 ～命を守るために～

秋田県内の災害の状況や課題を知り、個々の防災意識を高め、地域コミュニティ全体の防災力向上に結びつけるための講座です。

無料
定員20名

| No. | 日時 | テーマ | 講師 | 学習内容 |
|-----|-----------------------------|---|----------------------------|--|
| D1 | 6/1 (土) 13:30～15:00 | 新しい防災の考え方と 避難行動支援① | 日本赤十字秋田短期大学 講師 及川真一氏 | 日常と非日常を区別しないフェーズフリーの考え方や災害時に役立つスキルを体験を通して楽しみながら学び、障害がある方や高齢者等に対する避難行動支援の方法を学ぶ。 |
| D2 | 6/22 (土) 13:30～15:00 | 秋田県の記録的大雨災害から 考える防災・減災 | 秋田大学大学院理工学研究科 准教授 渡邊一也氏 | 令和5年7月の記録的大雨による冠水について、現地調査の内容から被害について知るとともに、被害を防ぐための対策や、避難行動について考える。 |
| D3 | 9/14 (土) 13:30～15:00 | 新しい防災の考え方と 避難行動支援② | 日本赤十字秋田短期大学 講師 及川真一氏 | 日常と非日常を区別しないフェーズフリーの考え方や災害時に役立つスキルを体験を通して楽しみながら学び、障害がある方や高齢者等に対する避難行動支援の方法を学ぶ。 |
| D4 | 10/12 (土) 13:30～15:00 | 秋田県の雪氷災害から考える防災・減災 ～県内の気象データから見た 雪氷災害の特徴～ | 秋田大学教育文化学部 准教授 本谷 研氏 | 気象データをもとに、県内の雪の降り方、積もり方の地域ごとの違いや、雪質と雪氷災害の関係について知るとともに、雪に関する災害を軽減するための方策について学ぶ。 |

～昨年度の講座内容～

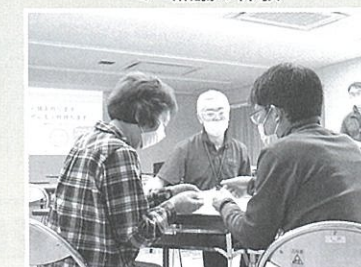
1回目は、「熟議」を行う意義、「熟議」を進める上でファシリテーターが果たすべき役割、「熟議」の導入部分をいかに組み立てるかについての講義を受けました。

続いて、実際の「熟議」を縮小した形で体験しました。何かを決定する会議のような堅苦しさをなくし、自由闊達な意見交換の場にすることで、参加者が様々な考え方に触れ、自分の考えを深め、共感したり、自分事意識が醸成されたりすることがわかりました。そのためにはどのような雰囲気づくりを心がけ、「熟議」を組み立てるかが、ファシリテーターの大切な役割であることを学びました。

ファシリテーターの役割を学ぶ



ミニ熟議の体験



2回目は、「熟議」を行う意義、手法、進行、構想の立て方を具体例にふれながら学び、自分なりの進行・構成を考えました。

オリジナル「熟議」の構想立案



3回目は、まとめの仕方と、協働に向けた方向性の示し方について学び、実際の例を用いて自らまとめる体験をしました。

教養分野

E 東大史料編纂所協力講座 ～日本史のなかの戦争～

東京大学史料編纂所の研究者から、様々な史料に基づく研究成果を直接学ぶことができる講座です。最先端の歴史学の成果にふれるまたとない機会です。すべて【講師リモート講座】で開催します。

有料
定員150名

| No. | 日時 | テーマ | 講師 | 学習内容 |
|-----|-----------------------------|--------------------------------|------------------------|--|
| E1 | 8/31 (土) 10:00～11:30 | 中世の戦争と戦災 | 東京大学史料編纂所 准教授 西田友広氏 | 史料編纂所で近年購入した史料を入りに、中世の戦争とそれがもたらした戦災について学ぶ。 |
| E2 | 9/7 (土) 10:00～11:30 | 南北朝の動乱と戦わない武士たち | 東京大学史料編纂所 准教授 堀川康史氏 | 14世紀の日本は「南北朝の内乱」と呼ばれる戦乱の時代だった。本講座では、戦いの様子をいきいきと伝える手紙を読みときながら、中世武士のしたたかな駆け引き、生き残り戦略について学ぶ。 |
| E3 | 10/5 (土) 10:00～11:30 | 戦国大名島津氏の戦争 | 東京大学史料編纂所 助教 畑山周平氏 | 九州の戦国大名島津氏に関しては、古文書だけでなく、日記・年代記・覚書等様々な種類の史料が残っている。そうした多様な材料を用いて、戦国時代の戦いの実態を学ぶ。 |
| E4 | 10/19 (土) 10:00～11:30 | 後方から見た戊辰戦争 ～明治新政府の兵站と「御威光」～ | 東京大学史料編纂所 助教 水上たかね氏 | 兵站等の後方に注目して、成立直後の明治新政府がいかに戊辰戦争を遂行し、その戦争遂行体制が政権確立にいかなる意味を有したかを、具体的な史料から学ぶ。 |
| E5 | 11/2 (土) 10:00～11:30 | 毛利氏に見る近世的軍団編成の成立 | 東京大学史料編纂所 助教 立石了氏 | 近世日本は、豊臣政権や江戸幕府という軍事政権がほぼ全国を支配した時代だが、その中核である武士集団(軍団)がどのように形成され、成立したのか、戦国大名から近世大名へと存続した毛利家を事例に学ぶ。 |

F 北条常久特別企画講座 ～戦争と文学 平和を求めてみんなで考えよう～

戦争の世紀を生きた文学者の足跡・戦争文学についての学びを通して、平和の尊さを次世代につないでいく講座です。

有料
定員150名

| No. | 日時 | テーマ | 講師 | 学習内容 |
|-----|-----------------------------|--------------------------|---|--|
| F1 | 6/29 (土) 10:00～11:30 | 西木正明 「ガモウ戦記」 | 秋田県生涯学習センター シニアコーディネーター・文学博士 北条常久 | 2023年12月に死去した仙北郡西木村(現・仙北市)育ちの作者が描く戦記。東京生まれ東京育ちの敗残兵が、戦地で出会った軍医との交流や身を寄せた秋田の風土の中で、次第に生き返っていく様子を学ぶ。 |
| F2 | 7/27 (土) 10:00～11:30 | 石川達三 「生きている兵隊」 | | この作品が発表された戦時中には、新聞紙法により石川達三は禁錮4ヶ月に処された。しかし、戦後に伏字復元版として発行され彼の代表作となった。従軍記者である作者の体験による作品を学ぶ。 |
| F3 | 9/28 (土) 10:00～11:30 | 金子洋文 「白梅記」(戯曲) | | 秋田市土崎で生まれた金子洋文の作品。戦死した息子が出征記念に植えた梅が、春になると花を咲かせ母をなぐさめるという内容。軍事保護院発行の軍人援護文芸作品にふれてみる。 |
| F4 | 10/26 (土) 10:00～11:30 | 伊藤永之介 「万宝山」 | | 中国長春に近い万宝山で、そこに移植してきた朝鮮の農民と現地人である中国の農民が衝突するという、日本の統治下にあった植民地(満州、朝鮮)の悲劇について学ぶ。 |
| F5 | 12/14 (土) 10:00～11:30 | 宮川ひろ 「東京へ帰る日まで」(児童文学) | | 戦時中、静岡の浜松に疎開していた東京の小学生が、空襲が激しくなり秋田の白岩村に二次疎開した際の、食べるものにも困るような悲しい生活を描いた作品。子どもたちが体験した戦争中の悲劇について学ぶ。 |

「熟議」のまとめ体験



最終回では、受講者が個別発表を行いました。各自の作品を使って「ミニ熟議」を行い、学習成果を披露しました。受講者が作成したスライドには、たくさんの工夫が見られました。
「ファシリテーションは経験が大事であり、今回の経験を生かして、何度でも挑戦してほしい」と講師による激励の言葉で講座は締めくくられました。

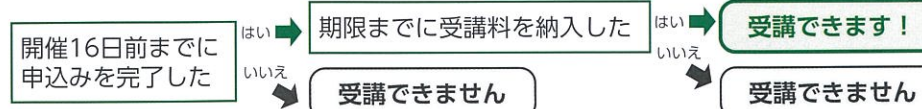
オリジナルプレゼンテーション



☆有料講座の受講について☆

有料講座は、事前に受講料を納入した方だけが受講できます！

※講座当日、現金での納入はできません。



受講できる方

- ・16日前までに申込みを完了
- ・期限までに受講料を納入済み

受講できない方

- ・16日前までに申込みできなかった
- ・期限までに受講料を納入できなかった

例

開催日が6月29日(土)の場合
→締切は6月13日(木)

■有料講座の受講料は1回440円

- ・その他に、学習内容に応じた個人に係る経費は自己負担となります。その際は、事前に案内します。

■受講料納入方法

- ・申込み後に郵送される「納入通知書」にて、ゆうちょ銀行を除く、お近くの金融機関からお支払いください。
- ・お支払いは、納期限までをお願いします。

■児童・生徒・学生は無料

- ・学校教育法で定める「学校・専修学校・各種学校」に在籍している方の受講料は無料です。
- ・申込みの際にあらかじめお知らせください。また、講座当日は受付にて学生証等の提示が必要です。
- ・講座当日、現金での納入はできません。

■欠席した場合

- ・納入された受講料の返金及び他の有料講座への変更・振替はできません。
- ・講座資料は、年度内は取り置きしております。後日来所の上、お受け取りください。郵送等では提供できません。

昨年度の講座の様子



地域の特色学び講座「伝統と挑戦」



サポーター養成講座「次世代へつなぐまちづくり」

あきた スマートカレッジ

総合的な生涯学習講座

地域づくり・現代的取組

知る

地域理解と社会参加

「スマート」とは

活発な・賢明な・粋な・高性能な
より高い見識を身に付け、自らの生活や行動に
生かすための学びの場にしてもらいたい

★ あきたスマートカレッジ講座の申込み方法等について

会場は、すべて秋田県生涯学習センターです。
 状況に応じて、各講座の定員を調整することがあるため、急遽、受付を締め切ることもあります。
 また、場合によっては開催方法の変更や延期、中止となることもあります。
 その場合は、その都度連絡いたしますので、連絡のつきやすい電話番号等をお知らせください。

■申込み方法 ※受講申込みは、令和6年4月3日(水)から受け付けます。

・秋田県生涯学習センターに来所の上、申込書を提出する方法の他、
 郵送・FAX・E-mailでも申込み可能です。

【問合せ・申込み先】を参照してください。

・【秋田県電子申請・届出サービス】からパソコンやスマートフォンで申込みできます。
 ぜひご利用ください。

※なお、電話での申込みは受け付けておりません。お問合せのみとなります。

| | | |
|--------|------|-----|
| 来所 | 郵送 | FAX |
| E-mail | 電子申請 | 電話 |

問合せのみ

【秋田県電子申請・届出サービス】の利用について

- ①【秋田県電子申請・届出サービス】にアクセスしてください。
https://s-kantan.jp/pref-akita-u/offer/offerList_initDisplay.action
- ②電子申請・届出サービスの「手続き申込」画面が表示されます。
- ③「手続き一覧」から、「あきたスマートカレッジ」で検索してください。
- ④手続きには、連絡がとれるメールアドレスや電話番号を入力してください。

QRコードからも▼



【秋田県電子申請・届出サービス】Webサイト

■留意事項

- ・申込みの受付は、先着順で定員になり次第、締め切ります。
- ・学習案内に記載された内容については、講師の都合等により変更することがあります。
- ・講座開催中、記録や広報等を目的として会場の様子を撮影します。
- ・申込みの際の個人情報については、本講座運営以外の目的には使用しません。
- ・欠席の場合は事前にご連絡ください。

■申込み締切

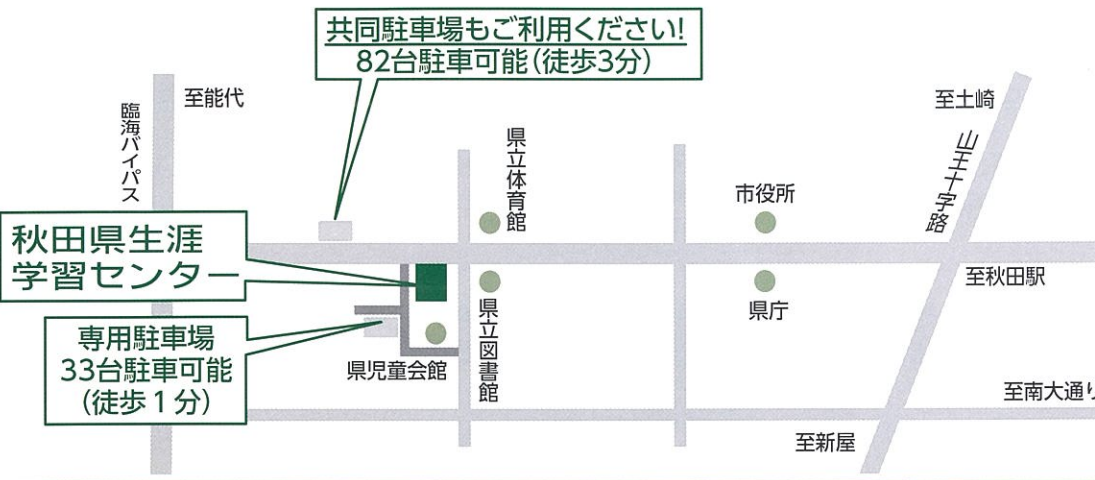
| | 無料講座 | 有料講座 |
|--------|---|--|
| 申込み締切日 | 各開催日 2日前 (郵送の場合 2日前必着) 締切間際の際はご相談ください。 | 各開催日 16日前 (郵送の場合 16日前の消印有効) 開催当日、会場での申込みは受け付けません。 |
| その他注意 | <ul style="list-style-type: none"> ・定員に達した場合は受講できませんのでご了承ください。 ・申込み受付状況については電話でお問合せください。 ●開講記念講演は無料ですが、資料準備のため事前の申込みをお願いします。 なお、開講記念講演に限り当日参加も受け付けます。 | |

◎どなたでも参加できます 生涯学習センターは、障害のある方の生涯学習を推進しています。
 サポートの必要な方はお気軽にご相談ください。

【問合せ・申込み先】

秋田県生涯学習センター

〒010-0955 秋田市山王中島町1-1
 TEL: 018-865-1171 FAX: 018-824-1799
 E-mail: sgscen002@mail2.pref.akita.jp URL: https://www.pref.akita.lg.jp/lifelong/



秋田県生涯学習センター Web サイト

※駐車スペースをめぐるトラブルが多発しています。
 近隣商業施設への無断駐車や路上駐車はしないでください。県機関の共同駐車場をご利用ください。



＜受講申込書について＞

○必要事項をご記入の上、当センターに直接お持ちくださるか、郵送やFAX、E-mail等でお届けください。

令和6年度 あきたスマートカレッジ 受講申込書

| | | | | | | | | |
|----------------------|------------|-------------|-------------------|--|--|--------|--|--|
| ふりがな | | | | | | 受講者番号 | 急な連絡が必要な場合がありますので下記項目をご記入ください。 | |
| お名前 | | | | | | | ご住所 | |
| 希望する講座記号に○印をご記入ください。 | | | | | | | 〒 - | |
| 無料 | 地域づくり | 開講宣言・開講記念講演 | 記念講演 | | | | 当日参加も可能です。 | |
| | | 地域の取組学び | A1 A2 A3 A4 A5 A6 | | | | 自宅電話番号 | |
| | 熟議ファシリテーター | 全受講のみ | B | | | | 携帯電話番号 | |
| 現代的取組 | 障害者の生涯学習 | C1 C2 C3 C4 | | | | FAX番号 | | |
| | 防災 | D1 D2 D3 D4 | | | | E-mail | | |
| 有料 | 教養 | 東大史料編纂所協力 | E1 E2 E3 E4 E5 | | | | 学校名 | |
| | | 北条常久特別企画 | F1 F2 F3 F4 F5 | | | | 学校教育法で定める児童・生徒・学生は、有料講座の受講料が不要です。該当する方は、学校名をご記入ください。 | |